
雜 錄

米國に於ける獨逸銑鐵に不當廉賣防止法勵行に關する意見書 (八月十六日鐵鋼協議會)

本文は 1926 年 7 月 15 日アイアンエージ誌より拔萃せるものにして米國東部製鐵業者が獨逸銑鐵の輸入に對し不當廉賣防止法に違反するものとして特別税を課せんことを當局に申請せるものなり。

この種の意見書は多數大藏省に提出されたるも其の内ボート、ヘンリーのウイザーバー、シヤーマン會社々長イー、オー、マルチング氏の二回に涉れる本件に關する意見書は次の如し。

其 の 一

(1) 獨逸は米國に對する銑鐵輸出國中第二位にあり。

大藏大臣閣下吾々は此處に獨逸國より米國に輸入さるゝ銑鐵問題に關し閣下の注意を促さんとす。商務省の報告に依れば本年 1 月、2 月の 2 ケ月中に於て 25,264 匁の銑鐵が獨逸國より輸入されたりこの期間に各國より輸入せる銑鐵の量を比較する時は獨逸は第二位にありて之等の銑鐵は多くはボストン、ニューヨーク、フィラデルフィア及バルテモアに於て輸入され今や此の輸入は東部製銑業者に對し由々しき大問題となれり而して吾々は後述するが如き根據の下に上記の獨逸銑の輸入は 1921 年發布の不當廉賣防止法に牴觸するものと信ずるものなり。

獨逸銑は上記の各港に荷揚げし關税を拂へるものが市場に於て 20 弗 254 乃至 21 弗 50 仙に取引され居り之はアイアンエージ或はアイアントードレヴューの如き本邦有数の鐵鋼雜誌上に於ても確め得る事實なるのみならず上記の各港に於ける仲買商のオツプアーを調査するも明確なる事實にして此等の値段は亞米利加内地の製銑業者の申出値段よりも低廉なるを見るなり。

(2) 獨逸國內の銑鐵値段は米國着の値段に同じ。

獨逸國內に於ける銑鐵の値段は種々の方面より知り得べく、(1)伯林駐在の商務官よりの報告にして商務省より發表されたるもの、(2)獨國スタールウンドアイゼン誌に掲載されたるもの、(3)英國のアイアンエンドコールドレヴュー誌に掲載されたるもの、(4)アイアントレードレヴューに掲載されたるもの等なり。

而して之等獨逸本國に於ける銑鐵市場相場の出所を探索するときは獨逸ライニツシュ、ウエストフアリア地方の工場積出値段が 20 弗乃至 21 弗 25 仙なることを發見せり茲に於て亞米利加着の銑鐵は船賃と關税を仕拂ひ而も獨逸國內の工場渡の値段を以て販賣せるを確め得る次第にて即ち獨逸人は輸出の目的に向ては銑鐵を自國値段より遙に安價に賣却し居ることを明に證明し得又獨本國の値段と輸出値段との差異を確めんとせば少くとも次の各事項を考慮する必要あり。

1. 獨逸製鐵工場よりアントウアーブ、アムステルダム、ハンプルグ港等の海峽諸港に至る運送費

2. 前記の各港より亞米利加各港迄の船賃及保險料。

3. 亞米利加の普通關稅。

4. 亞米利加仲買商の利益或は口錢（鉄鐵は多くに亞米利加仲買商に依りて販賣さる）。

(3) 歐洲の運賃率

前記の第1項はこれを精確に調査する事は困難事なるも獨逸製鐵鋼業者は輸出成品の運賃には特惠條件を附與され居れり或場合には工場の位置の關係上海峽諸港迄積出すに運河を利用する處もあり又或製鐵業者の如きは斯の如き目的に自家用の私設運搬裝置を有する者もあり。

何れの場合と雖も兎に角内地工場より海峽港灣に鉄鐵を送るには先づ車或は舢に積込み各港迄運搬し更に之を大洋汽船に積換へる必要ありて之等の諸掛りは1屯當り1弗以下には非る事は想像し得る處にして吾々が實際の生産費より計算せる處は甚しく之より多額に上り居れ共本書に於ては之の額を先づ1弗と想定すべし。

第二の問題たる大洋運賃は簡単に知り得る處にして實際運送に當れる船會社にて調査せる處に依れば海峽諸港より米國諸港迄の1屯當船賃及保險料は約3弗の由なり尙之の數字は米國關稅委員が1922年の關稅定率法第35條の規定に依り鉄鐵關稅率引上げに關し去る4月20日陳情聽取の際豫め公開されたる報告書中に於ても確め得る處にして其報告書第24頁に左記の通り記載しあり。

外國鉄の船賃は低廉にして長距離を運搬するも引き合ふ程度にあり米國產鉄を内地の消費者に運搬する汽車賃が往々各國より米國大西洋岸に運送する船賃より高價なることもあり、而して歐洲より大西洋岸に至る鉄鐵1屯の船賃は普通3弗にして大平洋岸に至るものは4弗なり。

(4) 鉄鐵の輸出値段は獨内地の販賣値段より6弗50仙安價なり。

上記第3項は定率にして1屯當り75仙なり第4項は商賣上の常識を以て考ふれば1屯50仙以下を下ることなかる可く普通1屯と見て差支なからん而して本書には仲買口錢を75仙と假定す可し。

以上の數字を統計すれば5弗50仙となり之を米國內に於ける獨逸鉄の賣價20弗25仙乃至21弗50仙より差引けば彼の國に於ける輸出鉄の實際値段は14弗75仙乃至16弗となれり。

されば獨逸鉄の輸出値と獨逸本國に於ける賣値の比較に於て其の差は1屯當り4弗乃至6弗50仙丈前者の方安價なる結論となる。

以上の事實は明に1921年發布の不當廉賣防止法に牴觸するものと思考せらるゝなり。

(5) 上記の値段は米國の生産費以下なり。

本件は不當廉賣防止法に於ける「亞米利加の産業に損害を與ふる云々」の條件に充分適合する事實にして。

第1.米國にて販賣さるゝ獨逸鉄の値段は亞米利加製鐵業者の生産費より低きこと。

但し之の事實は上記の關稅委員會の報告に於ても確かなり。

第2.外國鉄の値段は多くの場合に於て亞米利加東部の製鐵業者の鉄鐵賣價を限定するを以て該地製

鐵業者の受くる影響甚し。

第3.輸入鉄の競争により内地製鉄鐵の販路は漸次奪はるゝこと。

吾等は以上を以て不當廉賣防止法に該當する事項にして閣下にして之を調査されんか直に之を確認するゝことゝ信ず。

(6) 輸出は比較的少量なり。

米國大西洋沿岸地方にて販賣さるゝ獨逸鉄の値段と獨逸本國に於ける賣値との差が亞米利加に於て卸賣さるゝ量と獨逸に於て卸賣さるゝ量の多少に起因するものと考ふことを得ず何となれば米國に輸入さるゝ獨逸鉄の總量は獨逸國に於ける鉄鐵の總生産量に比較すれば實に微々たることは明かにして即ち獨逸に於ける 1924 年度の鉄鐵の總産額は 820 萬屯にして同年米國に輸入されたる同國鉄は只の 11,228 屯のみなり本年度に於ては 1 月、2 月の輸入高を基礎として 1 年を推さば其の輸入年額は 15 萬屯に達すべし、されば獨逸の輸出値段と右本國に於ける賣値の比較に於て卸賣の量多きが爲め廉價なりと云ふならば獨逸本國の値段は輸出値段より廉價ならざる可からざる道理なり。

然るに前記の如く却て反對の結果を現はし居れり。

右の各事實に依り閣下は製鐵業が斯の如く獨逸鉄の輸入に依り損害を受け又は受けんとしつゝあり又斯の如き商品が公明なる値段以下にて賣却され又されんとしつゝあることを見らるゝならん。

(7) 送狀の精査を希望す

茲に於て吾々は閣下が 1921 年發布の不當廉賣防止法の規定に基づき米國に輸入されつゝある獨逸鉄に就き亞米利加の産業保護の見地に於て充分調査されんことを申請するものなり。

尙關係各港に於ける鑑定官に政府より獨逸鉄の本國に於ける値段に就ての公報を知らしめ同種の鉄鐵が米國に輸入されたる場合其の送狀の値段と前記の本國の賣價とを比較せしめ尙前記の鑑定官が各港に於て自由に取引されつゝある値段を念頭に置き獨逸本國の工場より亞米利加諸港に至る運賃其他の諸掛りを計算し送狀の値段を充分精査するゝ様割合されんことを希望す。

而して又現今の鉄鐵に對する普通關稅は從量稅なるを以て送狀の値段に關係なき爲不正確なる申告をなす場合多きを以て特に送狀の内譯を仔細に調査する必要あるを認む。

今や鉄鐵の輸入は驚くべく増加しつゝあるを以て上記の事項が速に賢明なる鑑定官諸彦に採擇さるゝに至らば吾々の幸甚之れに過ぎざるなり。

尙以上の外吾々製鐵業者として御參考に供し得る事項あらば喜んで閣下の御諮問に應ずべし。

1926 年 5 月 27 日

敬 白

ウイザーバー、シャーマン會社々長 イーオー、マルチング

大藏大臣閣下

其の二

大藏大臣閣下吾々は去る5月27日附を以て獨逸鉄鐵の輸入に關し不當廉賣防止法勵行に關し意見書を提出せり。

(1) 當地着の値段は獨逸内地のものより低廉なり。

今日に至る迄不當廉賣の事實が政府當局者に依て確認されたるものなきが故に吾等は再度此の問題に就き當局の注意を促さんとす。

本年3.4.5の3ヶ月間に於て13,900屯、13,529屯及21,419屯總計48,848屯の獨逸鉄が輸入されたり斯く月々多量の輸入が連續することは本邦製鐵業者に對しては實に由々しきことと云ふ可し。

獨逸鉄の大西洋岸諸港渡値段は1屯20弗にしてスタール・ウント・アイゼン誌の報告する處に依ればライエツシュ、ウエストフアリン工場渡値段は1屯86—88馬克にして即ち1英噸20弗80仙乃至21弗27仙なりされば獨逸鉄鐵業者は獨逸内地運賃、大洋船賃、保險料、普通關稅、仲買口錢等を含めて尙且つ當國に於て獨逸内地相場より廉價に販賣しつつあり。

此の値段の大なる差異は不當廉賣防止法及大藏省令法文の言葉を借りて云へば恰も稅關鑑定官が少くとも投賣なることを疑ひ而して輸入業者に投賣の警告を發す可き場合なるべし。

吾等の聞く處に依れば或る港に於ける鑑定官は不當廉賣防止法に牴觸するや否やを調査する間獨逸鉄に適用徵收すべき關稅率の決定を差控へ居れりと云へり斯くの如き輸入品を包含する總ての送狀を差押へ置く時は此の問題が解決せる時は過去及現在に於ける輸入鉄鐵に課すべき追徵關稅は多額に上るべく斯くて輸入業者は必然的に之れを纏めて支拂はざる可からざるの結果に至るべし。

(2) 追徵關稅は1屯7弗に及ぶべし。

不當廉賣防止法の目的は蓋し斯くの如き輸入の防止にありて關稅收入増加の源泉とするにあらず。

而かも斯くの如くにして當局が投賣の事實を認定せず且鑑定官に追徵課稅速決の權能を與ふる時機が遅延するときは如上の目的を沒却するに至るべし。

而して吾々は多くの鉄鐵輸入業者は不當廉賣の事實を知らず況んや目下の輸入品が1屯に對し7弗の追徵稅を課せらるゝが如き事あらんことは夢想だもせずと信するものなり、されば速に法規に従ひ輸入業者の爲めに投賣の警告を發し如上の危險あることを知らしむるの必要あるものと信す。

不當廉賣防止法が果して議會が協賛企圖せるが如く内地製鐵業者に保護を與へんとする目的にあるならば速に投賣なるや否やの問題を決定し而して値段の差異の確認乃至は追徵稅の決定及徵收に歩を進められんことを希望して止まざるなり。

吾等國內製鐵業者はアイアンエージ誌の如き有力なる商業雜誌或は政府の公報に於て絶へず獨本國の値段と其の輸出値段の間に大なる値開きあることを見せ付けらるゝにも係らず而も審査滯滞の爲め此の法規の勵行が遅延せる事は實に失望遺憾に堪へざる處なり。

米國製鐵業者は公明なる立脚地に於ては獨逸同業者と競争することは實に快とする所にして若し獨逸製造業者にして米國に於ても獨本國に於けると同様の利益を見て販賣するならば吾等は喜んで其の

競争に應ぜんとするものなり蓋し投資政策に於ては自國の値段には（否生産費にすらも）何等の考慮なく只單に賣り得る値段にて過剰生産品を處分せんとする舊式の商略なればなり。

吾々は茲に閣下が上記の事體を不當廉賣防止法を以て處分されんことを重ねて申請するものなり。

1926 年 7 月 6 日

敬 白

ウイザーバー、シヤーマン會社々長

イー、オー、マルチング

大 藏 大 臣 閣 下

ユー、エススチール社本年第二期（4. 5. 6. の 3 ヶ月間）の成績

（大正 15 年 8 月 23 日 鐵鋼協議會）

本文は本年 7 月 29 日發行のアイアン、エージ誌の抜萃なりユー、エス社の本年第二期の利益金は優先株に恒例の配當をなすも尙普通株一株當りの利益は 4 弗 20 仙なり但し 1 月より 3 月に至る第一期決算に於ては上記の利益は 3 弗 89 仙なりしなり。

斯くて第二期株主配當率は普通株優先株共 1 分 7 厘 5 毛（年 7 分の割）の据置となれり。

昨年度第一期及第二期に於ける前記の利益金は各 2 弗 93 仙及 3 弗 7 仙にして即ち昨年前半期の合計 6 弗に對し今上半期は 8 弗 9 仙なり。但し

設備の増加改良等に費されたる經費支出はこの内に包含す而し昨年度はこの種の支出額が 2,500 萬弗即ち普通株一株當り 5 弗に及べり又昨年上半期の過剰積立金は 1,269 萬 3,871 弗にして昨年度 1 ヶ年を通じては 2,963 萬 2,442 弗に及ぶ本年上半期は 2,332 萬 3,075 弗なり。

各年度各期に於ける總利益金の比較次の如し（諸經費、税引當金、ユー、エス附屬會社々債利子等を控除せるもの）。

	1926 年	1925 年	1924 年	1923 年
第 一 期（1 月—3 月）	45,061,285 弗	39,882,992 弗	50,075,445 弗	34,780,069 弗
第 二 期（4 月—6 月）	47,814,105 "	40,624,220 "	41,381,039 "	47,858,181 "
第 三 期（7 月—9 月）	—	42,400,419 "	30,718,415 "	47,053,680 "
第 四 期（10 月—12 月）	—	42,630,840 "	30,939,912 "	49,954,744 "

當期利益金の處分次の如し。

當期利益金（諸經費、税引當金、ユー、エス附屬會社々債利子等控除） 47,814,105 弗

内

減價、消却金、ユー、エス附屬會社減債基金 12,785,662 弗

ユー、エス社減債基金 2,761,864 弗

差 引 純 益 金 32,266,579 弗

内

ユー、エス社今期社債利子其他 4,618,037 弗

再 差 引 27,648,542 弗

これを處分する事次の如し。

配 當 金

優 先 株 (1 分 7 厘 5 毛の割) 6,304,949 弗

普 通 株 (1 分 7 厘 5 毛の割) 8,895,293 弗

過 剩 積 立 金 12,448,330 弗

計 27,648,542 弗

獨乙鐵鋼業の危機 (スताल、ウント、アイゼン 6 月 24 日版抄譯) (大正 15 年 8 月鐵鋼協議會)

本記事は本年 6 月 11 日ハンプルグに於ける獨逸製鐵鋼業者聯合大會に於て幹事長ドクトル、ゼー、ダブルユー、ライヘルト氏が前記の演題の下になせる講演の摘録なり。

講演者は先世界に於ける鐵及鋼の生産及消費の著しき増加に就て述べ 1925 年度の總量を 1 億噸と置き將來に於ては工業の發達に伴ひこの量は更に大に増加す可しとせり、而して歐大陸に於ける鉄鐵製造量は恐らく 1913 年以降約 1,000 萬噸を減じ製鋼能力は漸く大戰前の狀態に回復せる程度ならん然るに北米合衆國に於ては鉄鐵の生産は何等の損害を受けざりしのみならず製鋼能力は却て増大し其爲歐洲の生産を壓倒するの狀態にあり而して米國が其年産額 5,000 萬噸以上に達せるに際し其生産額の僅か 0.5% にも充たざる獨逸輸入の鐵鋼品に對し最惠條約あるにも係らず高率の關稅を課せんとするは了解に苦しむ所にして斯く輸出に際し有利の立場にある吾が鐵製品が世界一般市價と同等に販賣せられざる可からずとせば佛國及ベルデューム等と競争上同一地位に置かれざる可からざるに至る可し歐洲各製鐵國間の相互の競争は米國と歐洲各國との競争よりも苦痛とする所にして特に競争場裏に於ける獨逸の位置の困難なる事は歐洲各國の 1913 年度の鋼鐵月産平均額と 1924 年 1 月より 1926 年に至る月産額との比較を見れば明らかなる處にしてこは第一表に依て表示されたり。

而して獨逸が昔の大獨逸國なりせば現今鐵鋼の生産能力が戦争前より低下するが如き事はなかりしならんも今や 1925 年の鉄鐵生産は戦前の 5 割 3 分のみにして鋼鐵は 6 割 5 分となれり獨逸鐵鋼の危機は已に之に依て表現され居れり英國に於ても此關係は略同じく不成績なれども彼の通貨膨脹國たるフランス、ベルデューム、ルクセンブルクの如きは全能力を發揮するに最も好都合の狀態にあり。

國家經濟の逼迫に反して製鐵鋼業者の囊中は甚しく悪しからず只薄利なる事は免れざるなり實際上製鐵工業の外國取引收支は良好にして鐵鑛、屑鐵其他の輸入過剩に對する支出項目を算入するも尙收支勘定は良好の狀態にあり然れども全般的の收支は尙満足す可き狀態にあらざるなり。

今日迄は利子の引下げ、金融の緩慢、貸出の緩和の如き經濟的好影響は少く他の不良條件たる内地購買力の減少國內國外の鐵消費の減退又はフランス、ベルデュームの競争の擴大、諸外國の輸入税の引上げ、フランの下落、英國の勞働爭議等の惡影響のみを受けたり 1913 年度に於ける獨乙國の鐵鋼消費量は 1,700 萬噸なり然るに昨年度に於ては 1,300 萬噸に下れり蓋し昨年度は不幸にして主なる

鐵鋼加工業が衰微せる爲内地市場に於ける消費が少なかりしなり鐵鋼加工業は今や農業、鑛業製鐵鋼業者が既に味はへる危機に見舞はれるなり。而して斯の如き危機の發生に際しても大型鐵鋼生産品並に加工製品の輸出増加は依然たるものなり 1925 年以來凡ての歐洲に於ける大なる各産鐵國の市場は非常に惡化せり從て殆んど何處に於ても輸出の必要を痛切に感ぜる事は了解し得可きなり。

第二表は錯雜せる罫線を以て充されたりこれに依て輸出が如何に不定にして變動多きを示せるかを見る可し。

現今に於ては佛國は世界第一の鐵鋼販賣者の位置にあり而して其輸出量は 1924 年始より 1925 年終に至る迄其月額 20 萬噸乃至 40 萬噸に上り其輸出量は 2 年間に倍加し 1913 年の夫に對し 8 倍せるを見る可く而して 1924 年の總輸出額 260 萬噸に對し昨年度即ち 1925 年に於ては年額 350 萬噸に達せり。

ベルヂューム、ルクセンブルグの輸出總額は 1924 年には 320 萬噸にして佛蘭西より約 50 萬噸優れるも 1925 年に於ては 300 萬噸に下れり英國の輸出は 1924 年には 350 萬噸にして 1925 年度は 330 萬噸なりされば上記の 3 箇國の輸出量は獨逸の夫れに比し遙に優越の位置にありて多くの世界市場を先驅しつつあり。

1913 年に大型製鐵品のみにて 550 萬噸を輸出し頗る優越の地位にありし獨逸は 1924 年にはルール問題の影響により 100 萬噸の輸出にも充たざりしも其翌年即ち 1924 年に於ては 250 萬噸に達し今年は最初の 4 ヶ月に於て既に 125 萬噸を輸出せり。

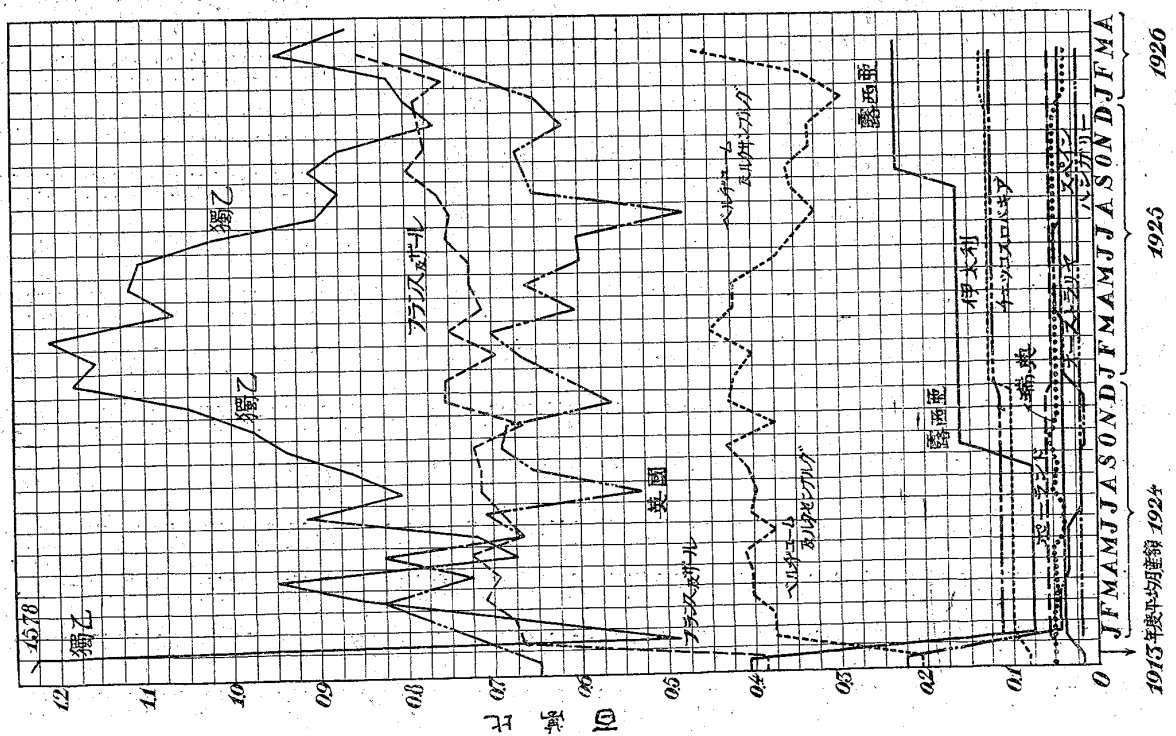
吾が鐵鋼業が此以上の營業休止狀態を脱せんと欲せば大型製品の輸出が必然的に振興されざるべからず、而して獨逸と他の佛蘭西及ベルヂュームの輸出の間に甚しき差異ある事は他の諸國に於ては出來る丈有利なる外國註文を保持せんが爲際限もなく生産能力を増大しつつあるに反し吾が國に於ては輸出が増加するも尙鐵鋼業の満足なる復活すらもなし得ざる狀態にある事なり。

又更に通貨膨脹國たる佛蘭西及ベルヂュームに於ては輸出値段は低廉なる時に於ても金貨をフラン紙幣に換算すれば尙多くの利得を齎せども獨逸國としてはフランの漸落の爲輸出の利得は漸次低下しつつあるなりさればフランの崩落は 1924 年の始 13 馬克 12 片が 26 法なりしもフランが漸次低下せると同步調を以て鐵價も沈下し來れるを以て外國市場に於ける獨逸鐵鋼の賣行を漸次惡化するに至れり。

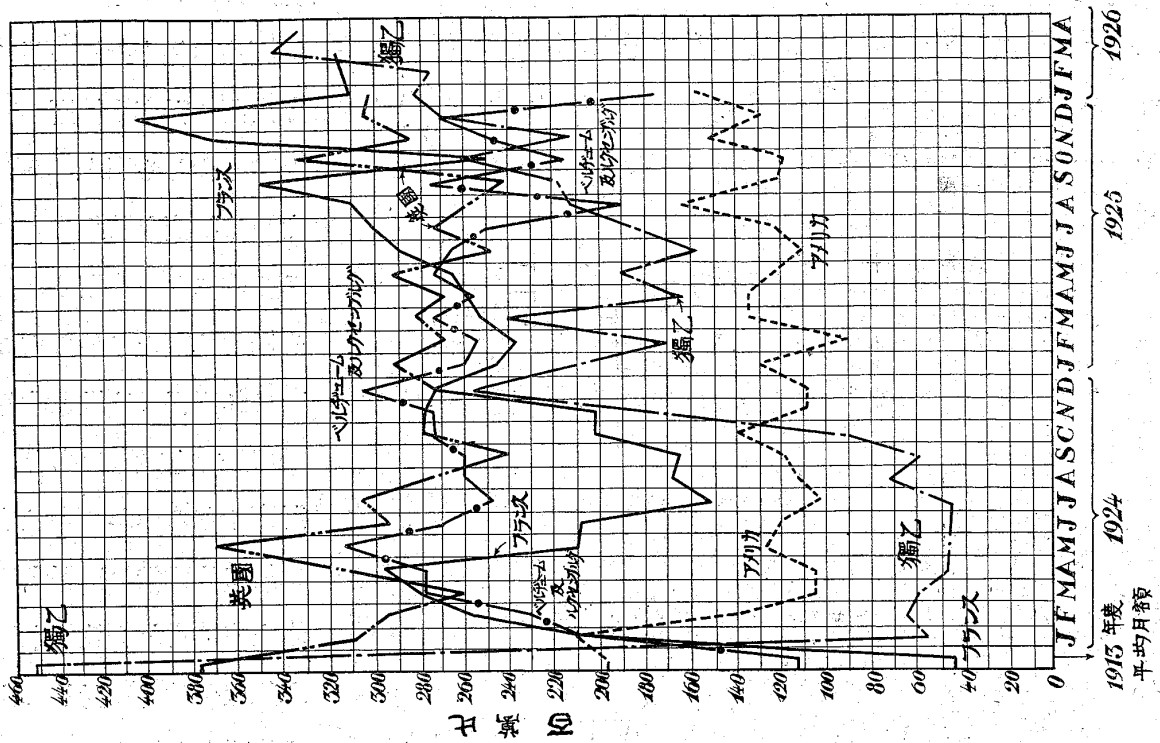
世界の一般物價は戰前より 5 割騰貴せるも歐洲各港積出しの鐵鋼の値段は今や戰前の値段或は其以下にありて通貨膨脹の爲實質的に低下せる賃銀、税金及運賃等の好條件を持せる佛國及ベルヂュームの鐵鋼業の競争が一般物價の騰貴より考ふれば必然的に尙高位にある可き鐵鋼の値段を既に以前より崩し居れり。

フランス及ベルヂュームに於ける通貨膨脹は停止する處なく而も生産費勞銀、税金、運賃等は金貨にて仕拂はれずしてフラン紙幣にて勘定さるゝを以て世界一般及獨國內地市場に於ても投賣が盛に

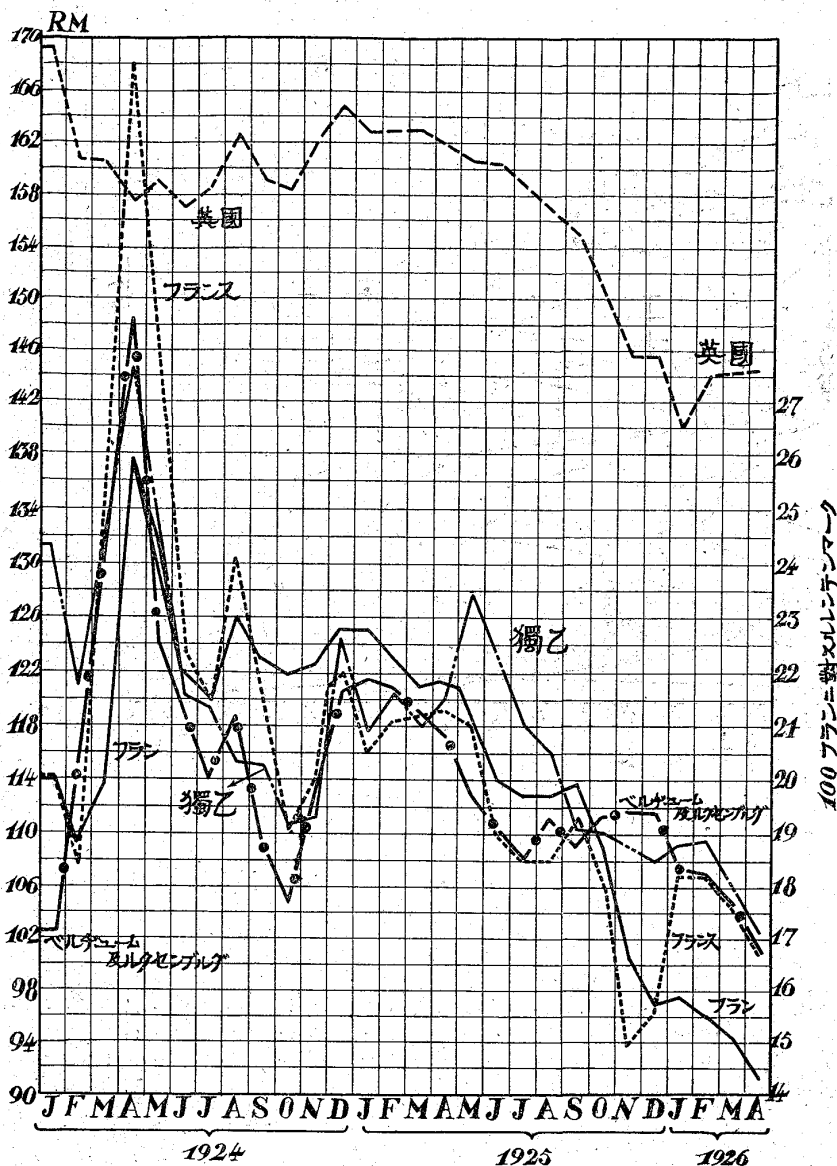
第一表 歐洲各國鋼鐵月產額表



第二表 主要製鐵國よりの大鋼製品輸出高比較表



第三表 主要製鐵國に於ける棒鋼輸出値段



繼續されつゝありこは第3表を見れば明らかなる事實ならん。

獨逸の從來の鐵關稅は 1925 年所謂關稅率小補則の發布に際しても少しも引上げられざりしを以て投賣を防止するに満足なるものにあらず斯くの如く國家の保護は頼むに足らざるなり。

されば吾々は鐵鋼業界内部に於て全能を盡し自力を以て之に對應せざるべからず又冶金工業に於ては設備の擴張或は新設は休止する所なく數年來技術の向上組織の改善に對しては特に合理的努力が拂はれ、ありロートリンゲン及ルクセンブルグに於て組織され居たる利益共同團體が例のベルサイユ條約の失敗の爲破壊に歸したる後更に所謂縱斷的綜合運動が端緒を發せるも最近2年間の傾向は横斷的綜合の觀念に支配されつゝあり 1924

年に關稅免除鐵輸入コンチンゼントが終末せんとせるを以て戰前有効に實行されたる共同販賣聯合の基礎が再生するに至れり、このシンジケートは現今は戰前よりも多種の鐵製品を包含するも其活動は今日尙以前より餘程せまき範圍にあり現今の鐵鋼値段は(多くの尙安價なる値段もあれど)公表されたる内地組合の値段に依れば 1913 年に比し2割高位にあるのみなるに一般物價の騰貴は 40% なり鐵鋼業に於ては税金、社交費、運賃、利息、原料等の騰貴に比し特に賃金が鐵價の騰貴以上に騰貴せり就中今日獨逸の運賃は少くとも西歐の通貨膨脹國に比し2倍乃至3倍の高位にありてフランの下落は競争國の運賃を益々低下せり而して獨逸としては2割5分乃至3割の運賃低下を絶體必要とするにも係らず斯のドウズ案に妨げられて低下せず斯の如き歐洲競争場裏に於ける推移はドウズ案の豫想ぜざりし所なる可し斯く内外に横はれる困難あるにも係らず多くの企業が狭き聯合の助により獨自の犠牲の下に喪失せる財政を挽回せんが爲不休の試練をなしつゝあり。

斯くして新組合は 1914 年軍需用として採用されたる鐵鋼業の組織變更、尋で平和時に對する再度の組織變更、通貨膨脹經濟、壓迫經濟乃至はルール問題の爲に起れる組織變更等を経て漸く出来上りたる終局のものにして新組合は實に 14 年間に於て第 17 回目の組織變更なりとす。

されば鐵鋼業自體としては自力を以てあらゆる犠牲を拂ひて今日に至れるものにして今や政府及議會に於て鐵鋼業の經濟及一般國民經濟の安定に適應すべき經濟、商業、租稅、財制、社會、貿易等の各政策を樹立せざる可からざる時機に際せるなり。

歐洲製鋼業者の聯盟提議 (アイアン、エンド、コールトレード、レビュー、7月26日版所載)
本問題に關する現状に對しエツセンより通信あり而して同通信が7月第2週に於てデュツセルドルフに於ける關係者間の交渉再開に關し報告する所によれば豫期の進捗を得ざりしものゝ如し。

其會合に於て論議されたる所左の如し。

1. 一樣なる生産制限率を定むる爲西歐諸國に於ける鋼鐵生産振當額の査定。

2. フランス及ルクセンブルグより輸入せらるゝ鐵鋼コンチンゼントの調節。

第2の問題は1ヶ年以上も以前に所謂ルクセンブルグ協約に依て決定を見たるも而も實際の效力なかりき而して獨逸製鋼業者は既に該協約に於て西歐製鋼業者間に於ける生産振當額は遅くとも協約實施の6ヶ月後に於て決定さる可き事を條件としたり従て前記の二問題は同時に協定さる可きものにして而も協約加盟者は兩問題の場合に於て同じからざるを以て別々なる協約が定められざる可からず即ち獨逸へ輸入する場合はフランス及ルクセンブルグのみが考慮中に入るも生産調節の場合は上記2國の外ベルデュームが加盟せざる可からざればなり。

英國の製鋼業がこの協約の爲如何なる利益を受くるやは全く疑問にしてこの鋼鐵聯盟の協議は或種の生産品に對する國際的シンデケートとは全然別種のものにして國際的シンデケート中に於ては既にルール及鋼管に對する協約は締結され鋼線に就ても遠からず決定を見る可き状態にありローレン及ルクセンブルグより繼承せらる可き製品の量に關しては獨逸は今回は上記のルクセンブルグ協約に於けるより有利となる可く鋼塊として1ヶ年間の生産 175 萬噸を承認さる可し而してこの量は該協約當時獨逸鋼塊シンデケートに對し割當として認許されたる 1,450 萬噸の1割2分以上に相當せり尙この量は輸入コンチンゼントに對して獨逸側よりせる減額の要求が認許されざりしならば最少し増加されしならん。

今回の協約にはザール地方は加盟せず蓋しザールの諸工場は既に鋼塊シンデケート及其販賣シンデケートに加盟せるか若くは最近加盟す可きを以てなり量の上より云へばローレン及ルクセンブルグに對し査定されたる額は以前に百分率として割當てられたるもの程苛重ならず而もこの査定は或一定の時期に於て獨逸鐵鋼業の繁閑に應じて調整さる可きものとせり。

各國間の生産割當査定に關しては査定噸數の基礎を 1926 年第一期の生産量に置く事とならんもこの數量の問題に關しては各自の意見一致せり、而して箇々の國に對し斯の如き噸數の基礎を作り世界

市場の狀況に隨ひ毎月關係各國に對し一樣に生産制限をなす事となるなり。

而してこの制度を勵行する爲には或特別の事務所を各國に置くものとす而して割當以上の過剰生産をなすものあるときは其過剰1匁當りに苛酷なる罰金を課し各工場が過剰生産をなすも何等の得る所なき様なす可し、又軌條及鋼管のシンヂケートに於て實行しつつあるが如き値段の點に關しては原則として何等の制限を設けず、而して製品の處分に關しても何等の制限なく各國に於ける各社或はシンヂケートは其生産品を其内地或は輸出國に各自の欲する値段を以て賣却する事を得、但し協約に加盟せる國に輸出すべからず然れども獨逸に對するコンチンゼントはこの限にあらず。

而して上記の二協約は同時に實施さる可き様提議されたり、されどこれ等の協約は此迄既に行はれたる幾多の協商に於て見るが如く獨乙佛蘭西間の通商條約が締結され而して其中に獨乙の鐵鋼加工業（機械工場等）に對し充分なる認許（Concession）が與へられたる時に始めて實施さる可きものにしてこれ等の認許（Concession）にして不充分なる時は獨乙の大鋼材製造業者は上記の協約を全然否認す可し、以上の關係に於て今後なさるゝ公私の交渉は多分圓滑に進捗す可しと稱せり。

佛蘭西に就て考ふるにフラン相場安定後に於ては今同國に振當てられたる割當を得る事は恐らく困難とならん。

斯く各國間の協約が成立せる場合の効果に就ては各通信により意見區々にして取敢へず多くの人は生産制限が急速なる効果を現す可しとは信ぜず蓋し西部地方に於ては市場に大ストックを有するを以て之を考慮せざる可からざればなり。

獨乙製鋼業者の本協約に對し希望する効果は輸出値段の改善さるゝよりも世界自由市場に於ける鋼鐵の提供數量の減する事にして之は減産及提供を國際的に調節する事に依て目的を達し得可しとなせり。

而して輸出値段が騰貴せば内地値段の下落を來し内地需要者の利益となるべしと附言せり。（大正15年9月 鐵鋼協議會）

鋼管シンヂケート組織さる（アイアンエージ8月12日版所載）7月23日ベルリン通信

獨逸、佛蘭西、ルクセンブルグ及ベルヂュームの鋼管業者よりなる國際的鋼管シンヂケートの組織は今や完成され7月1日に逆り同日より向3ケ年の期限を以て實行さるゝ事となれり而して生品販賣は地方的に箇々のシンヂケートに於て行はる可く中央販賣機關は設けられずして引受注文は相互に報告し合ふ事に依り聯絡を取り各國共其振當量に過不足なき様調節する事とせり。

斯くて鋼管の輸出値段は既に上騰し尙上騰するものと豫期せらる而して現存せしチェツコスロバキアとの間に於ける中歐鋼管協約は新シンヂケートに合併せられたり又英國がこれに參與するや否やは目下の處疑問なり。

軌條及鋼管業者聯合の其後の狀況（同上）（ワシントン發8月10日通信）

巴里駐在の米國商務官ダニエル、ゼー、レーガン氏の商務省に致せる報告によれば歐洲に於ける軌

條聯合の再組織及歐洲鋼管カルテルの設立は殆んど完成せり。

即ち佛蘭西國の權威で鐵鋼業關係の出版物の記載せる所によれば歐洲軌條製造業者聯合の再組織に關する報道は信ず可きものにして本月開かる可き次回の聯合總會に於て再組織の最後の調印が正式に行はる可く歐洲にては一般に期待し居れり。

ロンドンに於ける最近の協議に於ては大型レール 1 噸の値段を 6 磅と決定せり但しポンドのパーの價は 4 弗 86 仙なるを以て上記の値段は 29 弗 16 仙となる譯なり。

レーガン氏は報告中に述べて云はくこのカルテルは前報せるが如く前のイルマ (Irma) の代りにエルマ (Erma) と稱せらる可く而して形式上國際的と云ふより寧ろ歐洲的性質を帶ぶ可し。

この聯合は差當り 2 年間の實行期間にして主宰機關はロンドンに設けられ而して英人、佛人、獨人、白人の 4 代表者より組織さる可し。

上記の聯合に屬する 4 箇國に於て受けたる軌條の注文はロンドンの本事務所に移牒せられ各國の生産割當額に従つて之を按配するなり尙カルテルの組織の最後の決定に對する主なる障礙となりしものは英領地方の軌條の需要に對して之を英國より供給すべき特權を與へられん事を主張せる事にありし様なれ共この問題に關して英國が其割當額を滿たすに充分なる注文を受けたる後に非れば他國は南アフリカ及英領印度へ軌條を販賣する事を得ずとの了解の下に漸く決定を見たりと云へり。

國際的鋼管聯合、國際的鋼管業者聯合組織に對し歐洲鋼管業者の最近の會合はデュツセルドルフに於て行はれたり其報告左の如し。

大體意見の一致を見たるも尙調印するに至らず佛蘭西の信すべき筋の人々の間に於ては只殘る處は形式上の問題にしてこれは遠からず協定さる可しと考へ居れり、此協約は實は生産調節の目的を以て組織さるるトラストに非ずして値段の維持の爲協定されたる國際的協約なり而して販賣に關しては各國共獨立の立場にあるなり。

英國、イタリー、スペインは現今の處加盟の同意を表せず。(了) (大正 15 年 9 月 鐵鋼協議會)

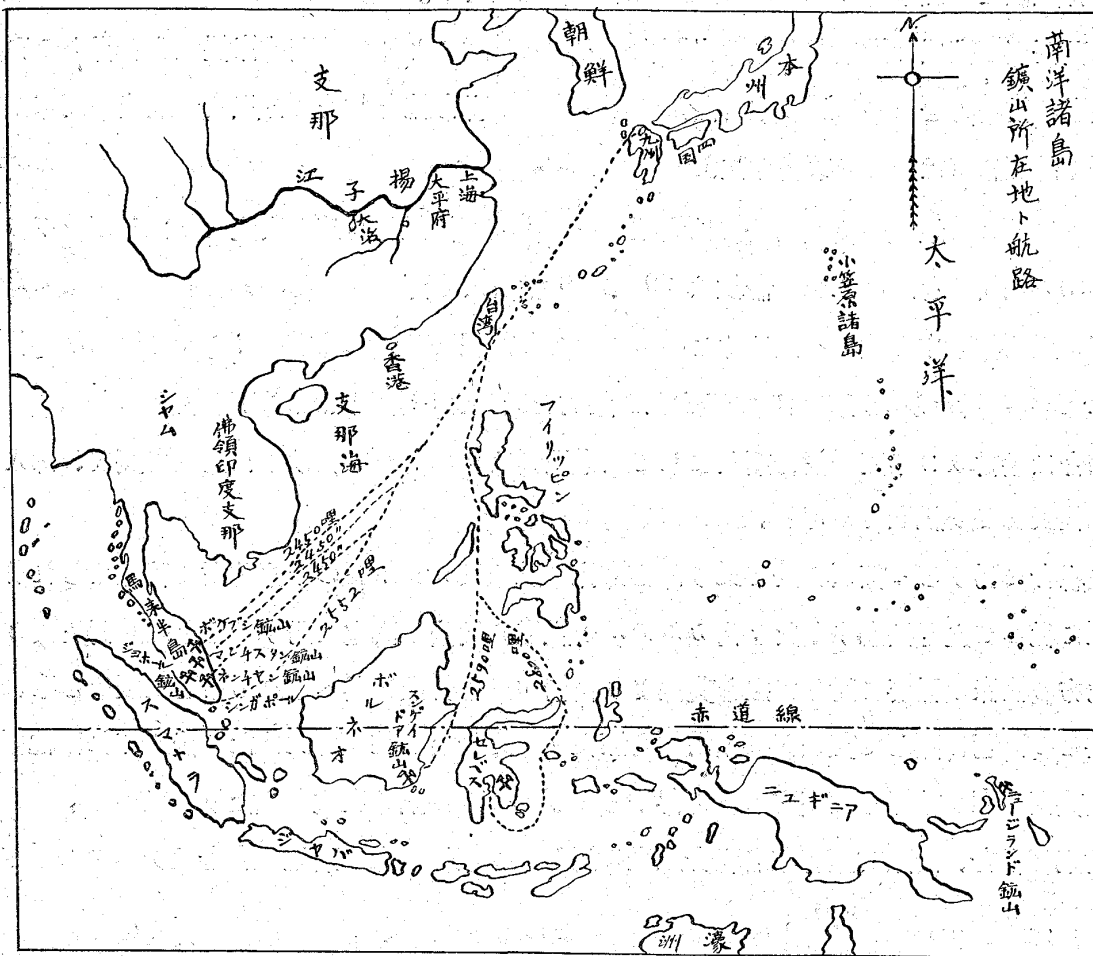
我製鐵原料鐵鑛供給の將來は憂慮の要なし (石原廣一郎)

目次 (I) 南洋鐵鑛の供給地と埋藏量 (II) 南洋鐵鑛の品位 (III) 南洋鐵鑛の經濟的價值

(IV) 南洋鐵鑛の輸出は國際的問題とならず安全に且つ永遠に日本に供給し得べし (V) 結論

最近支那揚子江沿岸に於ける鐵鑛の採掘が經營難に陥り本邦製鐵原料としての同地方よりの供給著しく減退したるを以て新聞雜誌等應々製鐵原鑛供給の將來を憂慮せる記事を見受くるに至れり。

而して右經營難に對しては關係當事者は之れが善後策に對し極力奔走しつゝあれば近く適當の解決を見るに至る可きを信ず、然りと雖若し不幸にして其解決當を得ず供給の途絶ゆる事ありと雖後段述ぶるが如く南洋の各地に於て豊富なる鐵鑛を埋藏し而も經濟的に供給し得べきを以て我製鐵原料鐵鑛供給の將來は何等憂ふるの要あらざるべし。



(I) 南洋鐵鑛の供給地と其埋藏量

大正8年馬來半島ジ。ホール王國に於て鑛量豊富なる鐵山を發見し南洋鑛業公司の手に依り大正9年より我國へ製鐵原料鑛石の供給を開始し以來大正9年度1萬噸、10年度14萬噸、11年度18萬噸、12年度24萬噸、13年度26萬噸、14年度27萬噸、既に合計110萬噸の供給をなせり、大正15年度以降は毎年30萬噸以上50萬噸の供給計畫を樹て既に大體の設備を了せり、而して今後需要増加に應じ別に格段の設備を要せず單に船隻を増加するのみにて年額100萬噸迄の供給は容易になし得べき状態にあり。

尙ジ。ホール鐵山の外に馬來半島トレンガヌ王國、マチヤンスタウン鑛山は既に昨年同公司に依り採掘設備と鐵道の布設を完成したり、目下滿俺鑛石のみの採掘をなすに過ぎざるも同山鑛區内には多量の優良なる鐵鑛を埋藏し既に年額15—6萬噸の積出をなし得べき設備あり。

以上2鑛山の外馬來半島に於ける未着手の鐵山としては同公司のボンテアン鐵山、久原鑛業會社のトレンガヌ王國バトブシ鐵山、蘭領東印度政府のボルネオ島スンゲイドーア鐵山、バンジャルマシン附近の鐵山、瑞典人所有のセボク鐵山、セレベス島のラロナ鐵山等あり、何れも鑛量豊富にして其埋藏量は示表の如し。

鐵山所在地	鐵山名	總鐵量 萬噸	經濟的採鐵量 萬噸	所有者名
馬來半島ジョホール州	ジョホール鐵山	29,548,940	13,569,600	南洋鐵業公司
同 トレンガヌ州	マチヤンスタウン鐵山	7,000,000	3,000,000	同
同 マハム州	ボンチヤン鐵山	15,000,000	7,500,000	同
同 トレンガヌ州	ボケブシ鐵山	推定 20,000,000	10,000,000	久原鐵業會社
ボルネオ島	スンゲイドア鐵山	170,000,000	100,000,000	蘭領東印度政府
同上	セボック鐵山	13,000,000	7,000,000	瑞典人
セレベス島	ラロナ鐵山	369,323,600	180,000,000	蘭領東印度政府
合 計		623,872,540	321,069,600	

上表中ジョホール鐵山は既に過去6ヶ年採掘をなし實施調査上の鐵量にして又スンゲイドア、ラロナ鐵山は東印度政府が3ヶ年の日數を閱し完全なる調査をなしたるものなれば確實なる鐵量と稱するを得可きも爾餘の各山は單に踏査に依り推定せる鐵量なり。

以上の外馬來半島オートパス附近ボルネオ島バンジャルマシン附近及カチンガン河流域等に相當なる鐵山散在するあり、其他南洋各方面は未踏査に屬する不毛未開の地多く未だ知り得ざる範圍に於て尙ほ有望なる鐵山を發見することあるは想像に難からざるべし、而して目下知り得る範圍に於ける經濟的採鐵量は最低3億噸と見るを得べく、我國1ヶ年130萬噸を消化するとせば約250年の生命を有す。

(II) 南洋鐵鑛石の品位

南洋の鐵鑛は其數量に於て褐鐵鑛、赤鐵鑛、磁鐵鑛として順次多量に存在し褐鐵鑛は其品位40%乃至57%を有するもの多く赤鐵鑛、磁鐵鑛として表はるるものは何れも鐵分65%乃至70%を含有する優良品なり。

ジョホール鐵鑛石は赤鐵鑛にして地表部轉石は65%乃至69%、地表部厚3呎乃至10呎の二次的沈澱鑛床の子抱石狀の部分は60%乃至65%、地下既に150呎下に探鑛坑道を開鑿し其品位は何れも含有量66%乃至70%のものを得たり（鑛床の大部分は下層に至るに従ひ鑛質品位低下するを常とするものなれ共南洋鑛山の鑛床は其反對の現象を示すものの如し）而して鐵分含有量多量なる結果不純物は極めて少なしとす。

各鑛山の品位は下表の如し。

鑛山名	形狀	鐵	滿侖	硅酸	硫黃	クローム	鐵百分中	
							磷	銅
ジョホール鑛山一號	赤鐵	69.51	0.130	0.290	0.029	—	0.076	0.011
同 二號	〃	62.60	0.090	2.160	—	—	0.174	0.003
同 平均	〃	64.42	0.260	1.280	0.034	—	0.133	0.014
マチヤンスタウン鑛山	〃	67.11	0.200	0.710	0.008	—	0.028	0.006
ボンチヤン鑛山	〃	68.55	0.140	0.400	—	—	0.031	0.005
ボケブシ鑛山	磁鐵	65.00	—	—	—	—	—	—
マンゲイドア鑛山	褐鐵	52.73	0.520	3.750	—	—	—	—
スンゲイドア鑛山	褐鐵	50.37	0.210	4.720	0.012	—	0.033	0.022

セ ホ ッ ク 鑛 山	褐鐵	55.00	—	—	—	—	—
ラ ロ ナ 鑛 山	〃	55.22	0.210	1.710	—	—	0.079
同	〃	50.52	0.340	0.680	—	—	0.011

以上構成々分を見るに馬來半島所在のジョホール、マチャンスタウン、ポンチヤン、ボケブシの各鑛石は何れも缺點なき優良品なるもボルネオ、セレベス、ニュージーランドは主として褐鐵鑛として存し鐵分稍劣り且つクロームを含有する缺點ありと雖何れも製鐵原鑛として使用上差支なきものなり。

(III) 南洋鐵鑛の經濟的價值

南洋に於る鐵山は何れも本邦を去る 2,500 餘哩の距離にあれば多額の輸送運賃を要し一見收支相償はざるものの如しと雖も其實は然らず、現に南洋鑛業公司經營のジョホール鑛山は 2,552 哩の運送をなし八幡製鐵所に納め毎噸 11 圓乃至 11 圓 50 錢にして内海上輸送運賃は 1 噸 5 圓乃至 5 圓 75 錢なり、然れ共平時海運界不況の場合斯る割合運賃にて運送をなし得べきも財界好轉運賃暴騰に際し採算の能否を疑ふなきに非ずと雖も其實は然らず之れを大正 7、8 年の海運界の最高調時に於て日本シンガポール間の最高運賃は 1 噸 18 圓にして其當時鐵鑛石の價格は 25 圓乃至 30 圓なりしに依り之れを見るに好況時に於ける運賃暴騰に際しては鐵鑛賣價も騰貴を來し居り、尠くとも既往實例に於ては却て採算の有利なるを思はしむ、而して船腹としては重量噸 7—800 噸の大型船滿載をなすものなれば採算有利にして海運距離の如何は大なる問題にあらざるなり。

更にジョホール鑛山輸送状態を見るに採鑛は全部露天掘にして鑛山所在地より舢舨積込地點迄は約半哩更に同所より本船積込地點迄は 23 哩の距離にあり、而して鐵鑛 1 噸に對する採掘費、舢舨運送費、營業費、金利、輸出税等の實費は年産 25 萬噸として金 5 圓 60 錢となる之れに本船運賃 1 噸に付き金 5 圓 50 錢を要すとして合計金 11 圓 10 錢となる。

同じく同公司經營のマチャンスタウン鑛山の採掘は露天掘にして鑛山所在地より舢舨積込地點迄は約 5 哩の鐵道輸送をなし舢舨の積地より本船積込地點迄は 13 哩の距離にして之れが年産額 10 萬噸とし本船積込地點の一切の經費は金 6 圓 10 錢にして本船運賃は金 5 圓 50 錢合計 1 噸に付金 11 圓 60 錢を要す。

以上兩鑛山は現實操業の成績に依るものなれ共爾餘の各鑛山に對しては 1 ケ年採掘高 25 萬噸と假定し 1 噸當り日本着經費を算出せば大略下表の計算となる。

鑛 山 名	採掘方法	本 船 積 込			本船輸送		日 本 着 1 噸經費 円
		鐵道運輸	舢舨輸送	1 噸當經費 円	日本迄の距離	運賃 円	
ジョホール鑛山	露天	半哩	23 哩	5.60	2,552 哩	5.50	11.10
マチャンスタウン鑛山	〃	5 〃	13 〃	5.90	2,450 〃	5.50	11.40
ポンチヤン鑛山	〃	5 〃	4 〃	5.40	2,480 〃	5.50	10.90
ボケブシ鑛山	〃	7.5 〃	25 〃	6.30	2,450 〃	5.50	11.80
スンゲイドア鑛山	〃	6 〃	—	5.30	2,590 〃	5.50	10.80
セホック鑛山	〃	1 〃	4 〃	4.80	2,590 〃	5.50	10.30
ラロナ鑛山	〃	13 〃	3 〃	5.80	2,820 〃	5.70	11.50

次にジョホール鐵鑛の標準品位 65 %、八幡製鐵所に納入價格標準毎噸金 11 圓 30 錢を基礎とし

各鑛山の鑛石品位に依り價格並に經費を比較對照せば次表の如し。

鑛 山 名	鐵鑛の品位	日本の市價 円	實際の經費 円	比較	
				損 円	益 円
ジョーホール鑛山	65%	11.30	11.10	—	0.20
マチヤンスタウン鑛山	65%	11.30	11.40	0.10	—
ボンチヤン鑛山	65%	11.30	10.90	—	0.40
ボケブシ鑛山	65%	11.30	11.80	0.50	—
スンゲイドア鑛山	52%	9.05	10.80	1.75	—
セボツク鑛山	55%	9.57	10.30	0.73	—
ラロナ鑛山	55%	9.57	11.50	1.92	—

即ち上表に示す如くジョーホール鑛山、ボンチヤン鑛山は1 匁に付き 20 錢乃至 40 錢の利得あるも之れに反し他は 10 錢乃至 2 圓の損失を蒙る計算なり、然りと雖採鑛量年額 30 萬匁以上に増加し又財界好轉鐵價騰貴の時期に到達するに於ては何れも本邦供給採算可能なるに至るべし。

本邦に於ても南洋原鑛の得るに至りしより原鑛供給豊富となり。之れを諸外國の原鑛價格に比すれば比較的割安なるものを使用しつつあり、今米國の例に考ふるに原鑛價格は每匁金 10 圓乃至金 17 圓にして本邦製鐵業者よりも高價なる原鑛を使用しつつあり、而も却て安價なる鐵材を生産し以て市場を脅威しつつあり、是れ實に生産原價の安價なる點に於て我に比し優越なるに依るものにして我邦製鐵界も漸時發達の經路を辿り大量生産と生産原價の低廉なるを得るに至れば前記南洋各鐵山の鑛石は何れも本邦供給の採算引合ふに至る可きなり。

(VI) 南洋鐵鑛の輸出は國際的問題とならず安全且つ永遠に日本に供給し得べきものなり

A. 馬來半島の鐵鑛；

1. 平時に於ける場合ジョーホール鐵山はジョーホール王國にマチヤンスタウン鑛山及ボケブシ鑛山はトレンガヌ王國にボンチヤン鑛山は馬來聯邦パハン州に所在し何れも英國保護の下にある小獨立國にして王國の主權の下に國法を制定し自治權を有す。

然れ共次に示す如き國狀にあるを以て鐵鑛の供給には何等支障なきを得、平時安全に本邦に供給するを得べし。

(イ) 自國民と外國人との別なく權利義務は國法上平等なり。

(ロ) 土地永租借權、鑛山採掘權、地上權等外國人に對しても自國民と同様に許可を與ふ。

(ハ) 何れも小王國にして國家財政豊かならざるを以て國土開拓歳入増加を希望し鐵山開發の如きは最も奨勵するところなり。

(ニ) 前記ジョーホール鐵山の採掘權は大正 8 年ジョーホール王國に於て筆者に採掘權の許可をなし而して同鐵鑛を始めて本邦に輸出をなすに當り積出地開港場ならざる爲め輸出不可能なりしを以て同目的の爲め同政府に對しバトパハ港を開港場として開設の請願をなしたるに大正 9 年 12 月立法

會議（國王並に英國政府顧問官も參加）に於て同港を開港場となすに決し官報にて公布せし事實よりしても當局に於て如何に國土開發保護の意あるか押して知るべきなり。

（ホ） トレンガヌ王國に於ても同公司が大正 14 年マチヤンスタウン鑛山を開設するに當り、鑛石輸送の目的とマチヤンスタウンよりパツセルスモーに至る 8 哩の鐵道布設の必要を生じ右鐵道布設申請をなしたるに之れ又立法會議を通過し英國總顧問官の名を以てマチヤンスタウン鑛山並に其附近に於ける同公司の取得せる鑛山採掘權の存續年數を限り、土地の使用及鐵道布設の許可をなし、土地使用に對しては納稅額を 1 ケ年毎英反 1 弗の低率を指定したり、之れ又鑛山業獎勵を意味するものなり。

（ヘ） 王國財政を考ふるにジ・ホール王國の 1 ケ年總歲入額 300 萬弗なるに對しジ・ホール鐵鑛山の納稅年額は 20 萬弗乃至 27 萬弗にして總歲入の 7 分乃至 9 分に相當し又トレンガヌ王國の總歲入額 40 萬弗なるに對しマチヤンスタウン鑛山の納稅額は 4 萬弗乃至 7 萬弗にして總歲入の 1 割乃至 1 割 7 分を占む之れを以て見るも本事業は國家財政と重要なる財源をなすものにして營業の如何は直に國家歲入に影響する處大にして現に同政府は進で採掘額の増加を希望し居れり。

（ト） 南洋の鐵鑛は英國保護領域内にありと雖も之を英本國製鐵原鑛に供せんには輸送距離餘りに遠く採算不引合なるを以て獨り日本に於て利用せらるゝ外途なし。

2. 戰時に於ける場合、馬來半島の鐵鑛輸送上につき之れを戰時に考ふるに戰爭の當事國として本邦を假定し、支那海が交通杜絶せられたる場合初めて輸送不能に陥るものなり。斯る時機は又國家存亡の危機なるべし、或は又日英間隙を生ずることありとせんか一時的に供給の途絶することありとせんも斯の如きことは先づ有り得べからざる事にして敢て憂ふるの要なきなり。

B. 蘭領東印度の鐵鑛

蘭領東印度に於けるセボツク鑛山は既に瑞典人に採掘權を附與したるも資金關係より事業未着手なり、而して現に本邦に於て適當なる資本家を物色しつつあり、依て之れと提携するに於ては何時にても同鑛の供給を開始し得べし。

スンゲイダ鑛山ラロナ鑛山は東印度政府の所有にして民間に權利許可を禁止し既に 4、5 年前官民共同にて製鐵所設立の計畫をなせりと雖も資金關係と該用コークス炭の不適合より昨年末不成立に終れり、而て兩鑛山の製鐵並に採掘鑛石に關し筆者豫め同政府に對し本邦に於る販賣を交渉したるも殖産局長官は採掘權の附與は不可能なり、然れ共東印度政府と共同經營となすか、又は東印度政府の下請の形式となすに於ては政府は地方開發の爲め許可を與ふるに躊躇せざるとを明言し且つ同鑛山に對する政府の調査せし一切の材料を提供し其他種々の便宜を與へ進んで事業着手を希望せし有様なりき。

以上の經過並に現狀に徴するも南洋所在の各鑛山の開發は國土開拓上或は國家財政上より寧ろ其獎勵する處にして別に國際的問題とならず、何れも支障なく本邦に供給をなし得べきものなり。

(V) 結 論

之れを要するに揚子江沿岸に於ける支那鐵礦問題更に錯雜の度を増し自然本邦に對する供給の途絶する事ありとせんか或は又た本邦製鐵の進歩發達に伴ひ多量の原料鐵礦を要する事ありとせんも前陳の如く南洋には多量の原礦を埋藏し既に筆者の知る範圍に於て 3 億噸を算する礦量あり、尙未踏査に屬する地方に於ても今後幾多有望なる鐵山發見せらるゝなきを保し難く礦量の豊富なる實に無盡藏と稱するを得べく而も經濟的に本邦に供給するを得べき状態にありとす、而して隣邦支那に於ける如く國際的諸問題を惹起するに至らず常に安全に供給し得べきものなれば我國製鐵原礦の供給を南洋に待つに於ては少く共茲數百年間は原料鐵礦に對し何等懸念の要あらざる可しと信ず。

既に最近に於て我製鐵原料不足を憂慮せる聲を耳にするに及び聊か筆者知る處を披瀝し以て江湖の參考に資せんとす。(一五、八、二五記)

ウェールズの鉄力工業 (通商局) 戦時中ウェールズ産鉄力の殆ど全部が英國及聯合國の軍用に供せられ、之が爲め従前の其輸出先市場は米國鉄力工業製品の蹂躪に委したり、米國鉄力産額増加し爲に戦後に於ける英國品の舊市場回復は頗る困難視せられたり、加之に西班牙、伊太利及獨逸の製産能力亦著しく増加せり、然るに豫期に反して英國品販路の回復は容易に行はれたり、世界輸出市場の需要を 100 とし英米兩國の供給率を示せば

	英國	米國
1923	91.29	8.72
1919	58.6	41.4
1925	75.85	24.15

又各輸入先市場に於ける米國品供給率を見るに次の如く減少せり。

需要國	加奈陀	南中米	日 本	墨西哥	歐 洲
1919	98.79	84.73	77.47	94.79	9.19
1925	48.12	34.11	68.33	48.71	6.04

米國製産力は戦前 762,500 噸より 1925 年 155 萬噸に上り、歐洲諸國亦約 25 萬噸を増加せるに拘らず、ウェールズの輸出額は 494,497 噸より 511,049 噸に増進せり、日本に於ける鉄力罐需用増加は頗る顯著なり、日本の大罐詰工業は正に成功せり。馬來に於ける支那人經營の鳳梨罐詰業亦成功し、1925 年英國は其 130 萬箱を消費せり。支那内地に於ても各種罐詰業勃興せり。但し支那人は自下手工製罐を行へり、最近北米に於て普通野菜類罐詰業發達しつつあり、他の諸國に於ても普通野菜罐詰の研究必要あるべし (ブリチッシン・インダストリース 5 月 10 日號)

新嘉坡に於ける石炭市況 (6 月) 7 月 16 日附新嘉坡、中島總領事報告 (8 月 24 日海外商報)

英炭並濠洲炭は依然として罷業繼續せる爲、輸出を見るに至らず、且つ南阿炭は Maize 積出に因る船腹不足と稀に船舶ありては印度以西に輸出さるるものあるのみにて當市場への輸入は少く前月に比して 1 萬 5,000 噸の減少を見たり。以上強氣材料により相當活況を呈すべき筈なるも前月末輸入

を試み始めし印度炭は本月に入りて M.C. Aslister 社 P.S 社の手に依りて約 1 萬噸輸入せられたり。値段は c.i.f 14 留比、即ち植民地貨 9 弗にして本邦炭も之が爲め甘味を見ずして終れり。對日爲替は上旬 119 $\frac{1}{4}$ 中旬 120—下旬 119 $\frac{3}{4}$ を示せり。本月中輸入高、日本 15,201 噸、外國炭 30,471 噸合計 45,672 噸。

本月中石炭相場、日本 12 弗—11 弗 5 仙（新嘉坡冲着）同二等炭 11.25—10.75（同）英國炭 38—37 志南阿一等炭 30—29 志、同二等炭 27—26 志、ボルネオ炭 10 弗 50 仙、印度 10 弗 50 仙、

本月中運賃相場、ナタルー新嘉坡間 2 志 6 片—2 志、九州—新嘉坡間 3 圓 50 錢、見當持合。

本月末貯炭高、日本炭 8,787 噸、外國炭 25,271 噸、合計 34,058 噸。

英國罷業の經濟的損害（7 月 26 日附在英、松山商務書記官報告）自由黨領袖ランシマレは 7 月 21 日下院に於て豫算討議に際し、本年 5 月に於ける總罷業及目下繼續中なる、石炭罷業の英國經濟界に及ぼしたる損害に關し、左の如き興味ある演説をなす處ありたり。歳入を計上するに最も必要なるは其財源如何を踏査するにあり、經濟界の安定ならざる限り、現在の歳出を保持し歳出入の均衡を求むる事不可能なり。而して經濟の決定は生産高の増加を期するにあらざれば期待し得べきにあらず、本年 5 月以來英國各種産業の生産高は極度に障碍せられ總罷業終熄當時經濟界の蒙りたる損害は少くとも 3,000 萬磅と豫測されたり、又 5 月 16 日より 7 月 16 日に亘る 2 ヶ月間に石炭罷業により蒙りたる炭礦界の損害は約 2,800 萬磅と計算し得べし。又鐵道の損害は豫想の如く大ならざりしも昨年に比し貨物輸送に 140 萬旅客輸送に 60 萬磅と見るを得べし、鉄鐵業の生産減は昨年に比し約 100 萬噸なれば 1 噸 5 磅として 500 萬磅の減額、又鋼鐵は約 120 萬噸の生産減なれば價格にして 1,000 萬磅の損害となるべし。次に紡績織物業を見るに綿絲綿製品の輸出減は 770 萬磅、毛織物 166 萬磅、其他 25 萬磅なり、而して其他の全製品の輸出減額は 1,750 萬磅なり、内國消費に對する各種品の生産減は 1,300 萬磅乃至 2,000 萬磅と見るべきも損害高は後者數に接近するものあるべしと觀測せらる、罷業中坑夫の失ひたる賃金は、2,500 萬磅其他の勞働者の失ひたる賃銀約 1,000 萬磅にして是等を合計すれば石炭罷業により蒙りたる全損害は正に 1 億 4,800 萬磅に達すべし。

（註 1921 年 4 ヶ月に亘る、石炭罷業直接關係の損害は約 3 億 6,000 萬磅と計算せられたり）

此外石炭罷業の影響は船舶に及び輸出石炭なき爲め繋船せられたる船舶全國に於て 137 萬 6,000 噸となり、本年 4 月 1 日に比し 73 萬噸を増加し、此損害約 70 萬磅と見らる。

罷業に因る損害以上の如しとするも、更に注意すべきは其損害の將來經濟界に浸潤しつつある惡影響なり、其影響の那邊に及ぶべきや 誰人と雖も豫測し難し、更に看過し得ざるは其影響が國家の信用及償還の正に近づかんとする債務支拂基金調達の方法に及ばず點なり、今日より 1929 年に至る 3 年間償還すべき短期國債額は 9 億 5,000 萬磅に達す、之が償還の爲め低利の基金を得るは一に今後課税の如何に在るものなり、今後 3 年間右國債額を 4 分半の利率にて借換し得れば國民の財政餘力は尙 2,000 萬磅乃至 3,000 萬磅と見るを得べきも斯の如きは現在の狀態にて到底望み得ず、歳入をし

て、歳出に超過せしむる甚だ難かるべし云々と。

獨逸商況の内産業界の部 「6月」(7月22日附在漢堡、川島總事報告) 産業界は5月中ルール石炭産出額 834 萬噸(全獨逸産額 1,068 萬噸前年同期は 1,044 萬噸) 前月に比し 85 萬噸の増加、日産額 35 萬噸即ち前月に比し 2 萬 5,000 噸の増加なるが 6 月に至り益々好影響著しく從來の作業時間短縮も一掃せられ中には時間外労働をなすものあり、失業者も此方面には減少、6月下旬は産出 38 萬噸となり、殊に輸送方面には手廻り兼ねルール埠頭之が爲新設備を爲すに至れりと言ふ、從て海外よりの注文に對しては特に長期の契約にのみ應じ以てストライキ終了後も獨炭の販路を維持するの策に出で居ると云ふ、5 月中獨逸國內産出鉄鐵 74 萬噸、粗鋼 90 萬噸即ち前同期に比すれば未だ前者は 23 %減後者も 19 %減なるも之亦漸次好影響を見るものゝ如く前月に比すれば前者は 11 %後者は實に 34 %の増加なるのみならず最近報によれば Tgnol Steel syndicate は客年中より從來久しく維持したる生産制限率 65 %なりしを 7 月 1 日より 67.5 %に増加するに至りし由なり、從つて製鐵株は後段所載トラスト借款成立と相俟て更に暴騰を極め 6 月末に比し更に 35.75 %方の騰貴なり、曩に述べたるが如く鐵類に對する米國附加税は中止の爲、當業者は安心なるが佛白爲替は依然として不安下落の趨勢に在る爲め之が救済は獨逸の經濟界に於ても默視するを得ざる事態に在り、之が爲屢々佛白財政救済の爲め獨逸の借款引受交換問題として徴兵速行等の憶説行はれる(以下略)

特許公報摘録

液狀粗鐵の製鍊法 大正 15 年出願公告第 9877 號第 153 類 6、製鐵、製鋼、第 154 類(9 熔解) 出願人發明者フランツ、ブルゲルス、代理人辨理士カール、フオーグト。

發明の性質及目的の要領、本發明は鐵を液狀にて適當なる爐例へば衝風爐に移し此の中にて鐵を細かく分割せる状態にて瓦斯流と接觸せしむる事を特徴とする粗鐵を 1 回の熔融にて再熔融鐵の性質を有する鐵に加工する方法に係り其目的とする燃料を節約し故障を減じ 1 回の熔融により從來の再熔融鐵も少くも同等の性質を有する鐵を得んとするに在り。

特殊耐蝕性輕合金 大正 15 年出願公告第 9932 號第 154 類、1、合金、出願人發明者、奥村猛 發明の性質及目的の要領、本發明は銅 0.5 乃至 12 %クローム 0.5 乃至 8 %ニッケル 0.5 乃至 7 %マグネシウム 0.1 乃至 5 %殘部アルミニウムを含有せる特殊輕合金にして其の目的とする所は酸類アルカリ及び鹽類等の稀薄溶液に對し耐腐蝕性強く起錆する事甚だ少く且つ強度性強大にして展延性に富むアルミニウム合金を得るに在り。

粉炭燃焼裝置 大正 15 年出願公告第 9946 號第 12 類 4 粉末燃料、燃焼裝置、出願人發明者、ヘンリー、アダム、プロリター、代理人辨理士、石 大次郎外 1 名

發明の性質及目的の要領、本發明は燃料給送管の前面に且つ上より距りたる位置に環狀の 1 個又は數個の格子、窓又は類似裝置を設け或場合に於て角度を調節し得可き此裝置を該燃料給送管より燃料排出線に對して適當の角度をなす如く配置せる點を特徴とする粉炭燃焼裝置に係り其目的とする所は

本燃焼器より發する火焰を制御し且つ指導し同時に從來より密接なる且つ擴大せる空氣及(若くは)汽及燃料の混合物を得んとするにあり。

電鑄管材鍛鍊法 大正 15 年出願公告第 9991 號第 154 類 4. 金屬熱處理、出願人發明者、蒸本吉五郎、代理人辨理士、稻木繁太郎

發明の性質及目的の要領、本發明は電氣鍍金に依り得たる電鑄管材を白熱し之れを該管材より稍小形の管材形の溝を穿てる 2 個のロール及其ロール間に管材の内徑より稍小形なる玉を裝附して成る鍛鍊ロール裝置を通過せしむる電鑄管材鍛鍊法に係り其目的とする所は電氣鍍金により得たる脆弱なる電鑄管材をして鍊鐵管と同様なる強靱性を有せしめんとするにあり。

無接目管の製造方法の改良 大正 15 年出願公告第 10095 號第 106 類 2. 金屬鋼管製造機、出願人發明者、マルテン、レックネル、代理人辨理士 甲斐秀雄外一名

發明の性質及目的の要領、本發明は圓筒狀をなせる管の内側及外側壁より作用する數對の輻機により無接目管を製作する方法に於て管の一端に近く或る距離を隔て、刻目を作り此刻目を境として一方は其儘に残し他方は前記刻目を末端に向ひて漸次擴け遂に末端迄で延展し平滑ならしむる前記無接目管の製造方法に係り其の目的とする所は管を刻目より漸次末端に向ひて延展する事により管の圓周方向への應力を減じ以て管に歪を生ずる事なく精巧に無接目管を製作せんとするに在り。

カンボチャ鑛山視察談 佛領印度支那カンボチャにおける 佛人ダークワール男所有の鐵鑛山視察のため、豫て出張中の商工省渡邊、安達兩技師は、この程視察を終へて歸還し目下視察調書作成中であるが、該鐵山は豫想よりは思はしくなかつたので、民間側でも餘り乘氣せずために商談成立は困難であらうとも該鐵山はダークワール男のいふ處によれば埋藏量 7,000 萬噸乃至 9,000 萬噸もあるといふが、調査の結果は意外に不足であつて、2,300 萬噸と豫想され、鑛質 40% の貧鑛でありまた該鐵山の鑛區はサンゴンからメーコン川により約 300 哩を上り、更に陸地約 100 哩を踏破の後、漸く鑛區に達する不便の地にあるのみならず陸地は大森林と山岳を以て閉ざされてゐるため相當多額の鐵道敷設費も要しかつ該地方の勞働賃銀は地方土人日給 2,30 錢に過ぎないが未開人なる爲生産能力も全く劣つてゐるから、結局相當の額となるなど、生産條件何れも不利である、故に從來八幡製鐵所が漢治萍公司から供給を受けてゐた價格以内を以ては該鑛石を到底内地に搬入すること困難で 1 噸 10 圓以上を要する見込みであるといふから、今後該鑛山買収交渉はほとんど物になるまいとされてゐる。(中外商業)

鐵鋼國產樹立目的の新團體産まる 七日正午より工業クラブで柵瀬軍之佐(商工政務次官憲政會)山本條太郎(政友會)岩切重雄(政友本黨)大河内正敏(貴族院)郷誠之助(東洋製鐵社長)三好重道(三菱製鐵取締會長)川部孫四郎(日本製鋼專務)白石元治郎(日本鋼管社長)今泉嘉一郎(日本鋼管)伊藤乙次郎(神戸製鋼社長)澁澤正雄(富士製鋼社長)牧田環(三井釜石社長旅行中缺席)の諸氏會合鐵鋼國策の具體的樹立を目的とする七日會なるものを新たに組織し第一回會合を開い

て發會式を挙げ意見の交換を行つたが少くとも月に一回例會を開き漸次具體的協議を進めて眞の國策樹立を計る事を申合せ幹事に岩切重雄氏を推薦して午後3時散會せり。

會の趣旨、その主旨とする所は製鐵國策樹立の聲を聞く事已に久しく近くは昨年末商工大臣の勸説によつて鐵鋼協議會なるものの成立を見たるもその期する所は鉄鋼の一貫作業を獎勵すると共に民間會社の共同販賣購入機關を設けんとするにあつたが、今尙歐洲鋼材と印度鉄の廉價輸入に脅威され加ふるに多數會社は戦後の惡影響を受けて居るそのまゝに放置するにおいては鐵鋼案の將來はすこぶる寒心に堪へぬこの際七日會は不偏不黨の見地から鐵鋼國策につき可能性ある理想案を立てこれが實現を期するといふにある。

今後の方針、然して理想案なるものは民間當業者の合同を策し半官半民の一大會社を設立せんとするかまづ第一段には目下成立の途中にある日本鋼管、釜石、富士製鋼の共同販賣組合を將來會社として關東方面の合同機運を作り關西、九州、北海道にもこれと同様地方的合同の實を計り第二段第三段として理想的大合同に到達せんとするにあるものゝ如く差し當りの問題としては次期議會に對する鉄鋼關稅引上の可否等が論議される模様である。

岩切氏語る。これにつき幹事岩切重雄氏は語る。

この企ては一朝一夕の問題ではないが鐵鋼國策の樹立は論議の時期を去つて現實的な懸案となつて來た今度こそは公正な立場から批判もし研究をして何とか物にしたいと思ふ關稅とか不當廉賣防止等は必要には相違ないが本會の立場からすれば未葉の問題に過ぎぬからその邊は誤解なきを望む會員は官吏たると議員たると當業者たるを問はず全く自由の資格である従つて會名もうんとくだけで七日會と命名したが會の基礎が強固となるにつれて或は適當な名稱に變へるかも知らぬ(東京朝日)

製鐵所の鋼材 11 月物値段。八幡製鐵所は 24 日午後 2 時 11 月物の鋼材拂下げを發表したが、値段は大體外國註文値段(現在丸鋼 88 圓見當)に追隨し次の通りにきめた。(單位圓)

	11 月拂下値	前値		11 月拂下値	前値
丸 鋼 (ベース)	86	84	山 形 鋼 (小)	87	85
角 鋼 (同)	86	84	溝 形 (小)	90	90
平 鋼 (同)	86	84	鋼 板	93	93
山 形 鋼 (大)	—	90	ロ ッ ド	—	84

エキストラ丸鋼 2 分 5 厘以下略なほ今回の拂下げ數量は前回通り 2 萬噸、申込期日は 9 月 27 日迄である。

現物値も改正 八幡製鐵所は 24 日鋼材の拂下げ現物値段を左の通り改正の旨發表した。(單位圓)

	改正値	前値		改正値	前値
丸 鋼	92	90	同 (大)	100	98
角 鋼	92	90	溝 鋼	103	103
平 鋼	92	90	工 形 鋼	100	98
山 形 鋼 (中)	93	91	鋼 板	98	97

なほエキストラは先物拂下値段と同値である。

米國鐵材の對日輸出激増 米國商務省發表によれば本年7月中米國より日本向輸出した鐵類は下の如し。(單位千封對)。

	7 月	本年累計
鐵 板 板	563	8,983
ブ ラ ク シ ー ト	19,421	133,105
ブ リ キ 板	7,786	61,407

これを昨年と比較すると1月より7月までの累計に於て鐵板は昨年よりも435萬3,000封度ブラクシートは1億524萬封度ブリキ板は1,840萬封度いづれも増加してゐる増加の原因は英國が炭坑罷業のため生産中止の状態に陥り輸出能力を失つたからである。(東京朝日)

7月製鐵所鋼材契約高 製鐵所7月分契約高は鋼材合計6萬505噸にして前月に比し8,790噸約1割6分の増加更に昨年同期の1萬5,500噸に比すれば實に4萬5,000噸の著増にして約4倍の大量に上つて居る、その主要品目次の通り。

	本年7月	6 月	昨年7月		本年7月	6 月	昨年7月
棒 鋼	20,902	15,854	1,193	線材及製釘材	4,322	3,831	—
形 鋼	17,309	11,091	3,141	黑板及鋳力	2,375	1,266	678
鋼 板	13,885	7,515	2,516				

八幡製鐵所銑鐵生産高 大正15年8月中出銑量、5萬998噸280匁、本年累計41萬6,619噸760匁、前月比較、増産、1,469噸200匁。

大陸の鐵鋼協定不調 (海外商報610號、大正15年9月19日著在倫敦帝國商務書記官松山晋二郎電報)獨、佛、白、ルクサンプルグ國鐵物協定關係國は、17日再び商議する所ありたるも、白耳義は割當月額26萬5,000噸に對し、29萬噸を要求し折衝の結果他3國は多少の讓歩を爲したるも、猶白耳義の容るゝ所とならず、商議は不調理に延期せられたり。

大冶鐵鑛積出不能となる 16日當市某所著電によれば支那動亂のため大冶鐵山の鐵鑛積出は不能に陥つたと報じて居る、由來大冶鐵山より鐵鑛の供給を受けて居るものは八幡製鐵所を筆頭に釜石、輪西、久保田、海軍、兼二浦等の製鐵所であつて年額總計約100萬噸と稱せられて居た、而して右鐵鑛積出不能によつて先づ影響を蒙るべきは我國の銑鐵界であるが、筆頭の八幡製鐵所には萬一に備へるために銑鐵は5箇年間のストックを有し鐵鑛は10箇年間のストックを擁すと稱せられて居り、其の他の釜石、輪西、兼二浦、海軍、鐵工所等にしても少くとも2箇月位の準備はあるとの事であるから1箇月位は差したる影響はなからうと觀られて居る。殊に八幡製鐵所製の銑鐵は直ちに自家用に供して居り、又共同販賣組合への銑鐵製造所中鞍山、本溪湖は少しの影響も蒙つて居らないのであるから内地市況に於いても直ちに其影響を蒙る事はあるまい、尤も之が永引いて2箇月3箇月にも亘る事になれば自然夫々對策は攻究せられて結局は印度邊へも注文を發するに至るやも計られないが、事情

は右の如くであり且つ昨今は内地にも相當のストックを控へて居る事であるから先づ其の様な事になるまいと樂觀せられて居る。(大阪時事)

銑 鐵 市 場 在 庫 月 報 表

		大正 15 年 9 月 31 日現在			三菱商事株式會社金屬部	
市 場	持 主 別	合 計			前月比較	
		生 産 筋	間 屋 筋	消 費 筋		
東 京		4,329吨	5,690吨	4,535吨	14,554吨	-3,081吨
横 濱		—	—	3,220	3,220	-1,010
名 古 屋		1,610	3,021	2,200	6,841	+ 405
大 阪		—	11,530	8,800	20,330	+1,250
神 戸		—	230	43,310	43,540	-1,120
阪 神		6,363	—	—	6,363	+2,274
門 司		—	987	1,915	2,902	- 591
長 崎		—	30	232	262	+ 52
函 館		—	55	140	195	+ 30
大 連		5,923	4,602	550	11,075	+1,563
室 蘭		14,004	—	—	14,004	-3,752
釜 石		4,485	—	—	4,485	- 715
兼 浦		26,126	—	—	26,126	+2,188
計		62,850	26,145	64,902	153,897	
前月比較		+1,602	- 44	- 4,068	- 2,510	

銑 鐵 市 場 在 荷 品 種 別 表

(概 數 璣)

		大正 15 年 7 月 31 日現在								三菱商事株式會社金屬部	
品 種	兼 浦	京 濱	名 古 屋	阪 神	九 州	滿 鮮	北 海 道	其 他	合 計		
兼 浦	2,430	841	9,664	289	26,123	—	—	—	39,350		
釜 石	1,821	1,470	2,740	50	—	—	—	4,485	+ 3,423		
輪 西	5,615	2,720	4,100	50	—	—	14,084	—	+10,574		
漢 陽	—	—	150	15	—	—	—	—	1,053		
東 鐵	—	—	256	—	—	—	—	—	26,569		
鞍 山	630	510	2,750	640	7,104	—	—	—	- 1,112		
本 溪 湖	960	190	32,333	530	2,941	—	—	—	165		
Cleveland	250	80	50	—	—	—	—	—	50		
Hematite	—	—	600	—	—	—	—	—	256		
Burn	800	250	150	530	200	—	—	—	- 30		
Swedish	—	—	50	20	—	—	—	—	11,634		
Bengal	520	30	1,650	180	—	—	—	—	- 403		
Tata	1,020	300	10,250	800	—	—	—	—	36,951		
雜 計	3,720	450	5,490	60	830	115	—	—	- 355		
合 計	17,774	6,811	70,233	3,161	37,201	14,199	4,485	—	380		
前月比較	- 4,091	+ 405	+ 2,404	- 542	+ 3,751	- 3,722	- 715	—	10		
									600		
									100		
									1,930		
									- 542		
									70		
									50		
									2,380		
									+ 140		
									12,370		
									- 4,220		
									10,665		
									- 260		
									153,897		
									- 2,510		

英國對外貿易中日本向鐵類 (單位磅)

輸 出	7 月		自 1 月至 7 月	
	1925年	1926年	1925年	1926年
鋼 鐵 (板條棒等を除く)	266,151	176,276	1,952,978	1,686,791
日 本 向	2,350	9,231	39,780	53,659
鐵 鋁 (電鍍せざるもの厚さ $\frac{1}{8}$ " 以上のもの)	85,048	49,476	780,866	584,989
日 本 向	398	—	10,583	8,044
同 (厚さ $\frac{1}{8}$ " 以内のもの)	233,450	222,433	1,586,705	1,903,982
日 本 向	110,475	62,449	599,837	934,205
電 鍍 せ る 鐵 鋁	1,114,719	992,089	8,172,321	7,788,385
日 本 向	606	1,699	7,634	12,443
錫 鍍 せ る 鐵 鋁	1,018,019	538,925	6,808,315	5,849,244
日 本 向	39,325	26,950	217,721	247,423
鐵 筒 及 管 (鑄る物)	372,205	403,161	2,781,777	3,009,500
日 本 向	9,481	5,977	58,545	29,454

同國 7 月中鐵鋼類日本向輸出狀況上表の如し

デリベッス製鐵所新設 (8月25日附在ノヴォル・シビルスク島田領事報告) ノヴォ、シビルスク驛の東方、西伯利鐵道タイガー驛 (トムスクに到る支線の起點) の手前、ユルガ驛より南方に向ひ、鐵道支線より。右に依りクズネックに達する事を得る、ソヴェト政府は今般此地に近き、デリベッスに大規模の製鐵所を新設せんと企て居り、之が爲先般クズネックに特別委員會を特派し、該委員會には、新冶金工場計畫に關する國營學校 (略してギプロメズと謂ひ、レーニングラードに在り) より冶金科學長リーピン博士、及レーベデフ技師之に参加し、製鐵所々在地の選定其他に従事したるが之に關し右リーピン博士が 7 月來發表せる所は多少參考となるべき點あり次の通り。

ソヴェト政府冶金工業廳は國內に於ける鐵の需要逐日増加し供給不足なるに顧み三大製鐵所を新設せんとす。第一はクリウオロージェに第二はウラル、マグニトナヤ山に第三はデリベッスに之を設けんとす。

既に本年春よりデリベッス地方に於て學術調查的事業を行ひ、ウーソフ博士指揮の下にデリベッス及テミロ、タウスクの磁性鐵礦産地に於て鑛石埋藏量及品質調査隊調査に従事し、同時に同所に於て地學協會も活動し居れり、又コンドーマ河谷に於ては粘土、石灰石、砂土等製鐵所に必要なる材料に對し地質探索的事業行はれつゝあり、同様の調査はクズネック市の附近に於ても行はれつゝあり。オン・ノウオー・ウオロビエフスク地方に於ては、石炭の埋藏量及品質調査並開拓地點選定の爲別動隊活動しコークス製造に對する石炭の検査も行はれ居れり。コンドマ河、ムラツススウ河及トミ河の上流沿岸各地方に於て森林調査の爲一隊活動し、又ゴールノ、ショウルスク地方の南部に於ては殖民地帶の調査及植木の調査行はれ居れり。更にクズネック附近の經濟調査も行はれつゝあり。一隊は石灰石の大産地を發見したるが右は製鐵所の必要に應じ得るのみならず、更に西伯利のセメント工業にも應じ

得べし。石炭に關する調査は本年10月1日迄に終了すべく、鑛石に關する調査は今年10月1日迄に終了すべく鑛石に關する調査は今年冬期來年夏期に及ぶべし、後者の延引したるは開鑿調査に従事したるに依る。

製鐵所用地域の選定に關する委員會には技師ズーエフ外8名の技師其他之に参加し結局製鐵所建設に最適應したる地域としてクズネック——バルナウール街道の少しく西北に當りペツソフワヤ村の向にあるオビ河左岸の地域約4km²を採用する事に決したり右地點は工場建設の爲にも將又技術上、經濟上、理想的に經營し得べき製鐵所を建設する爲めにも總ての條件を満し居れり、労働者の部落としてはクズネック—バルナウール街道の西北9露重スタルツェクヤ山の斜面ゴルブノワヤ村の向ひオビ河の左岸に在る4km²の此點を選定したり。デリベスビューローは右地域にボーリングを行ひ粘土の性質を明かに爲し及測量圖面を作るべき事を委任せられ又交通省代表者は製鐵所に到る鐵道支線の敷設案を提出すべき旨を命ぜられたり。本委員會は前記決定に關しペツソフワヤ村及ゴルブノワヤ村の代表者と協調を遂げ又クズネック、デリベツク間鐵道及オン—ノウオ、ウオロビエフスコエ石炭産地に到る支線の敷設に着手する必要を認めたり。

盧森堡鐵鋼業の強味 (通商局) (海外商報9月30日版) ルクセンブルグの鐵鋼業は其巨額の投資並其工場規模の雄大及其世界市場に於ける地位に依り卓然として同國產業界を卒ぬ。次掲の數字は主要鐵產國中に於ける盧國の地位を示す。

國名	大形爐數	銑鐵生產力		鋼生產力	
		總噸數	人口當1人	總噸數	人口當1人
米 國	399	49,000,000	0.462	56,000,000	0.528
獨 國	212	15,000,000	0.250	17,009,030	0.283
英 國	464	12,000,000	0.279	12,000,000	0.279
佛 國	219	11,000,000	0.282	9,750,030	0.250
白 耳 義	56	3,500,000	0.460	3,500,000	0.460
盧 森 堡	47	2,800,000	10.728	2,250,000	8.620

ルクセンブルグ公國は其總生產力に就て言へば鐵生產國中第6位に在るも實際生產高に於て屢々白耳義を超過して第5位を占むる事あるのみならず若し夫れ國土の廣袤、人口の多少の見地より云へば諸國中卓然第1位にあり。

斯く相對的に顯著なる發達を有せる第19世紀中葉に於て國の南境に沿ひ約3,600「ヘクタール」に亘りて延及しロレイン大鑛脈の延長たる大鑛脈の發見せられたるに因る。

ルクセンブルグに於ては鐵鑛露出し其採掘は或は野天に於てし或は丘腹の坑道に於てす、其含鐵率は豊富ならず、僅に30%乃至35%に過ぎずと雖も約2%の磷を含有す。ロレインの鑛脈は遙に多く地下に没入し其鑛質も亦優良なり、是に於て盧國の冶金業者はロレインにも一大鑛區を獲得し以て自家の鑛層を延長せり。

盧國多數の冶鐵工場は次掲5社に分屬す。

社 名	工場數	大爐數
1. Acieries Reunies de Burbach Eich—Dudelange (Arbed)	3.	15.
2. Hauts fourneaux et Acieries de Differdange St. Ingbert-Rumelange (Hadir)	2.	13.
3. Societe Metallurgique des Terres Rouges;	2.	11.
4. Societe Anonyme D' Ougree-Marhaye, Division the Rodange;	1.	5.
5. Societe Anonyme des Hauts fourneaux et Acieries the Steinfort.	1.	3.

盧國冶金業者は其設備より成るべく多大の利得を收めんが爲めに單に鉄鐵生産に止らず成るべく完製品を製出する事を企圖せり。是れ鉄鐵より鋼を製する爲めに製鋼場を又粗鋼より成形鋼、箍梁材、線軌條等の半製品及完製品を製出する爲めに伸展工場を有する所以なり。

利用策は極度に實行せられ遂に幾多の回收及副産物の工業を發生せしめ延て鐵鋼生産費の著しき低減を實現し得たり即ち製鐵所附近に鑛滓整理工場、セメント工場、煉瓦工場、發電所の群立を見たり、トマス熔滓整理場は盧國農業に必要な優良化學肥料を供給し發電所は熔鑛爐より生ずる瓦斯を利用して製鐵業の必要とする電力を發生せしむ。

又コークス供給は白耳義及獨逸の炭坑に對する放資に依りて確保せらる又同様の方法に依りて羅典亞米利加各地の完製品工場と密接の關係に在り。

印度タタ鐵鋼増産計畫の内容 印度における最大製鐵會社であるタタ鐵鋼會社は最近一大増産計畫をたてたと傳へられてゐるが、右情報によれば燃料經濟を主眼として熔鑛爐や製鋼工場の改善及び増設、發電所の新設等根本的改革を目的とするもので、本年末乃至來年初めから工事に着手して1933年乃至1934年に完成する豫定である、總費用は約201萬磅を計上し同社年々の消却費を以てこれに充當するとのことである、右計畫の概要は左の通り。

1. 現在コークス爐を改善または最新式爐を新設し、石炭の消費量を最低限度に切りつめると共に熔鑛爐、平爐等を改善して間接に石炭の儉約を計ること、
2. 最新式熔鑛爐の新設と舊平爐4基を90噸に改良することによつて鋼塊産額を現在50萬4,000噸(生産費噸當り79志6片)を78萬噸(炭價の昂騰を噸當り3志と見ても生産費は噸當り75志)に増加する豫定であること、

大體右のやうであるが、これによつてタタ鉄鐵がどの程度まで増産され、どの程度まで生産費を低下し得るかは不明であるとしても常に印度鉄に悩まされてゐる本邦製鐵業者にとつては等閑視を許さぬ問題として一部では既に實情調査に着手すると共に本邦製鐵界も單に販賣數量や價格の協定に止まらず生産設備その他の方面にも徹底的の改善を施さぬ限り將來ますます印度鉄の壓迫を受けるだらうと懸念し、タタ鐵鋼會社今回の計畫を機會に業界の覺醒を促す必要があると主張してゐる。

製鐵先物値上 八幡製鐵所は9月11日、12月渡し製鐵値段を左の通り發表した(11月渡据置)
 バル87圓(9圓高)▲等邊、不等邊アングル88圓(5圓高)▲チャンネル99圓▲ジョイスト95圓▲板物2分94圓(1圓高)▲1分5厘95圓(1圓高)▲1分及3ミリ96圓▲7厘及2ミリ105圓▲5厘及1.8ミリ110圓▲1.2ミリ115圓▲1ミリ117圓▲エキストラ、丸、角とも据置